

意見書(医療機関記入用)

(あて先) 京都市長

医療機関担当者が意見を記入するところ	患者氏名	京都 花子																	
	傷病名	新型コロナウイルス感染症による呼吸器疾患				初診日	令和 2 年 4 月 3 日												
	発病年月日	令和 2 年 4 月 1 日				発病の原因	不詳												
	労務不能と認められた期間	令和 2 年 4 月 1 日から 令和 2 年 4 月 10 日まで																	
	うち、入院期間	令和 2 年 4 月 3 日から				療養費用の種別	<input type="checkbox"/> 国保 <input checked="" type="checkbox"/> 公費(感染症) <input type="checkbox"/> 自費 <input type="checkbox"/> その他												
		令和 2 年 4 月 10 日まで				転帰	<input checked="" type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 繰越 <input type="checkbox"/> 転医												
	診療日及び入院していた日を○で囲んでください。	令和 2 年 4 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療実日数	10 日
		令和 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療実日数	日
		令和 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療実日数	日
	上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく)																		
新型コロナウイルス感染症の感染の疑いのため、4月3日初診。PCR検査の結果陽性であり、肺炎の症状がみられたため同日から入院。7日程度で症状の改善が見られた。4月10日に実施した検査において陰性となったため、同日で退院。											手術年月日	令和 年 月 日							
											退院年月日	令和 2 年 4 月 10 日							
症状経過から見て従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見																			
症状の改善が見られた4月7日以降も、感染拡大防止の観点から、検査結果が陰性となるまで入院が必要であったため、入院期間は労務不能と判断した。																			
令和 2 年 4 月 30 日																			
上記のとおり相違ありません。																			
医療機関の所在地	京都市中京区○○町○○番地																		
医療機関の名称	医療法人 ○○病院																		
医師の氏名	御池 四郎											電話番号	△△△-△△△△						